

障害福祉現場における 生産性向上の基本的な考え方

～当事者視点に立ったケアの充実のために～

- **はじめに**
- **なぜ生産性向上が必要なのかーWhy**
- **生産性向上とは何かーWhat**
- **生産性向上をどのように進めるかーHow**

はじめに

■現場の実感

- 記録や事務作業の増加
- 人手不足
- 利用者と向き合う時間が不足

■生産性という言葉への戸惑い

- 効率優先になるのではないか
- 支援が画一化するのではないか
- 現場の負担が増えるのではないか

■政策的に生産性向上が重要テーマに

しかし、現場では、

- 必要性が十分共有されていない
- 言葉への抵抗感
- 何から始めるか分かりにくい

だからこそ、障害福祉における生産性向上の考え方を共有することが必要

はじめに

障害福祉現場における生産性向上は、
「支援を減らすこと」や「人を減らすこと」ではなく、
「ケアを充実させるためのもの」です。

Why

なぜ生産性向上が
必要なのか



What

生産性向上とは何か



How

生産性向上を
どのように進めるか

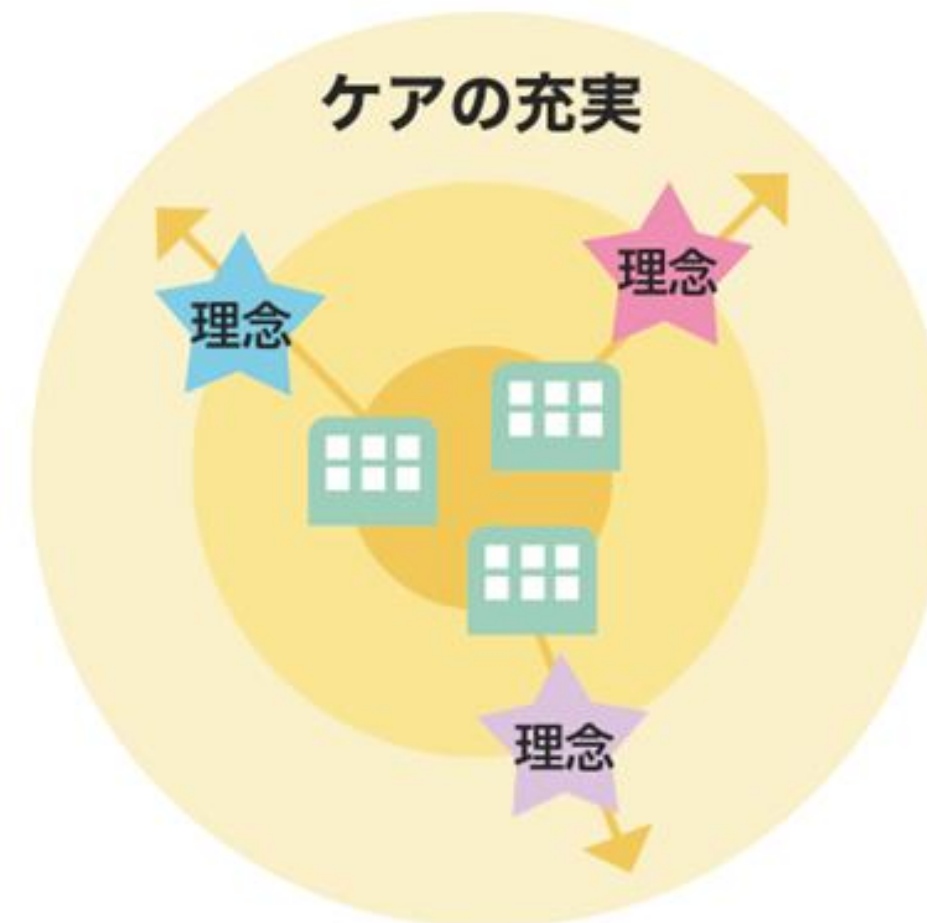
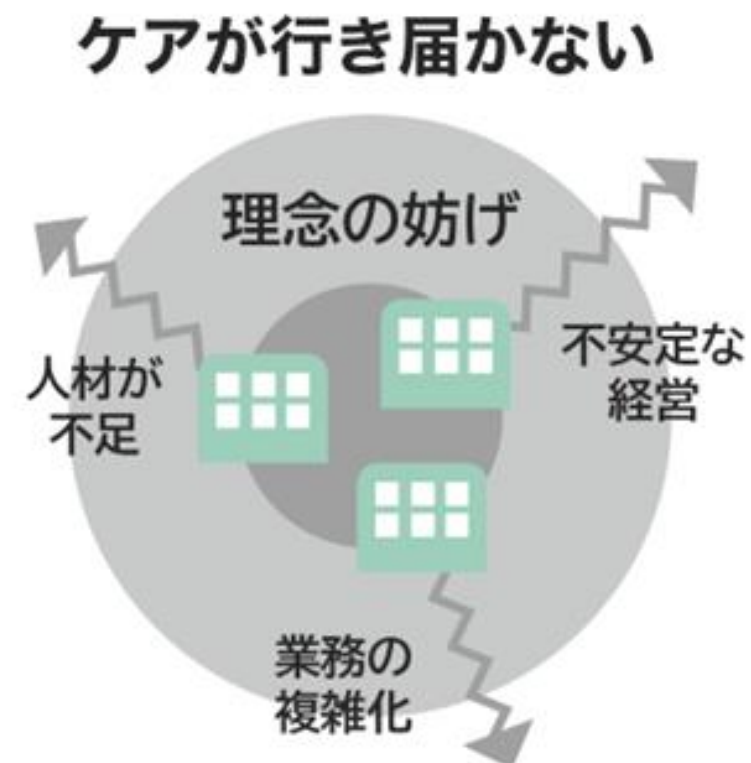


なぜ生産性向上が必要なのかーWhy

■現状と課題

障害福祉では、利用者の特性やニーズが多様であり、各事業所は理念や価値観のもとで当事者視点に立ったケアの実現を目指しています。

しかし、人材不足や業務の複雑化などの課題により、理念の実現やケアの充実が難しくなっている現状があります。

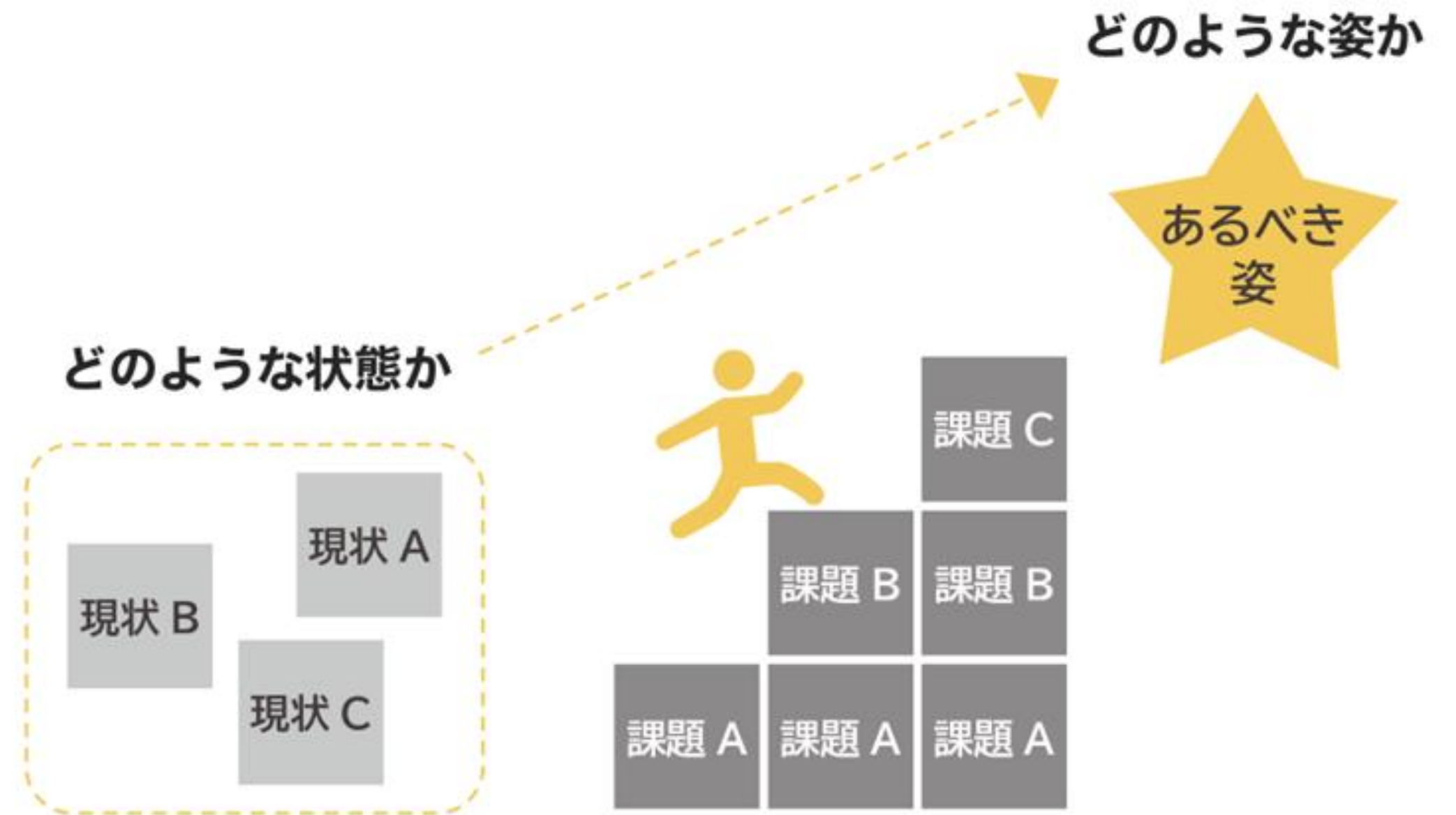


なぜ生産性向上が必要なのかーWhy

■生産性向上の目指すこと

生産性向上は、各事業所が目指す「あるべき姿」と現状を整理し、その間にある課題を明らかにして改善していく取組です。

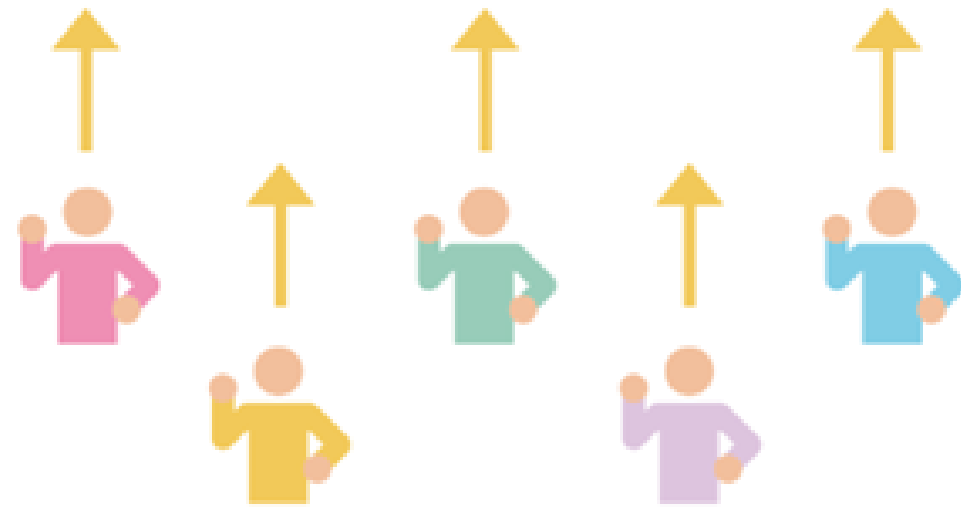
職員がチームで課題に向き合い、小さな改善やテクノロジーの活用などを通じて、ケアの充実を実現していくことを目指します。



生産性向上とは何かーWhat

■障害福祉における生産性向上の定義

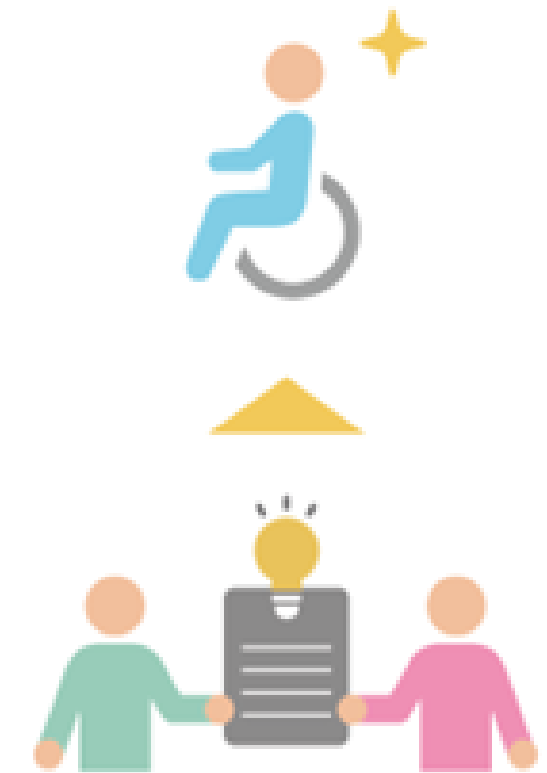
支援者一人一人の力を
引き出す



チームでその力を
利用者に届ける



新たな価値を
生み出すこと



**支援者一人ひとりの力を引き出し、
チームで利用者に届け、新たな価値を生み出すこと**

生産性向上とは何かーWhat

「当事者視点に立ったケアの充実のための生産性向上」の実現には、
これら3つの要素をバランスよく実現していくことが重要です。



生産性向上をどのように進めるかーHow

■生産性向上を進めるうえで大切にしている価値観



協調性 (みんなですすめる)

立場や仕事の違いにかかわらず、みんなで一緒に考え、協力して取り組むことを大切にします。



包摂性 (みんなにやさしい)

誰もが参加しやすく、意見を言いやすい雰囲気や仕組みをつくります。



共益性 (みんながうれしい)

利用者、支援者、組織等、すべての関係者にとって、よい変化になることを目指します。

生産性向上をどのように進めるかーHow

■取組の5つのステップ

「当事者視点に立ったケアの充実のための生産性向上」の取組を進めるにあたり次の「5つのステップ」に沿って進めることとしています。

これは、一度きりで終わるものではなく、循環・繰り返しの中で、少しずつ前に進んでいくことを想定しています。

1

共感をつくる



2

課題を「見える化」する



3

解決策を考える



4

試してみる



5

振り返る



生産性向上をどのように進めるかーHow

■ステップ1 共感をつくる

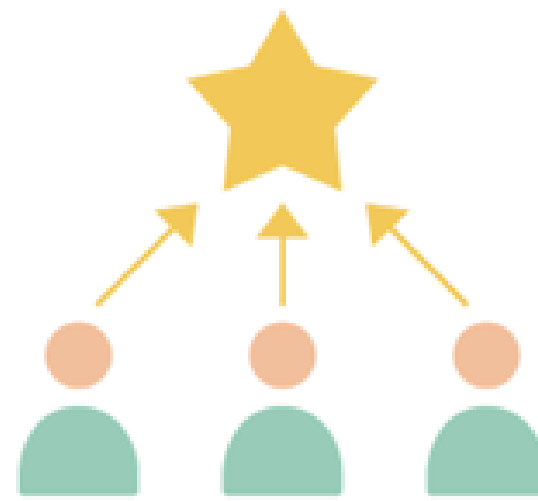
支援に込めた想いや価値観を言葉にし、支援者間で共通の「あるべき姿」を描くことで、共感をベースとした取組を進めるための土台をつくりします。

ステップ①

言葉にしてみる



あるべき姿を描く



呼びかける



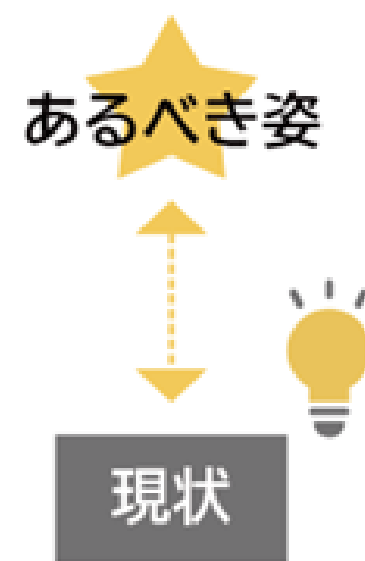
生産性向上をどのように進めるかーHow

■ステップ2 課題を見える化する

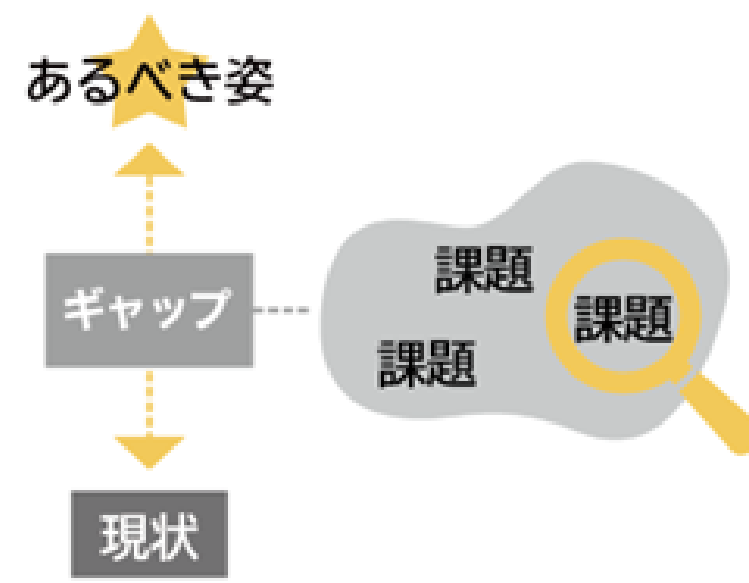
あるべき姿と現状を比較し、ギャップから課題を明らかにします。
課題を整理することで、優先して取り組むポイントを見える化することができます。

ステップ②

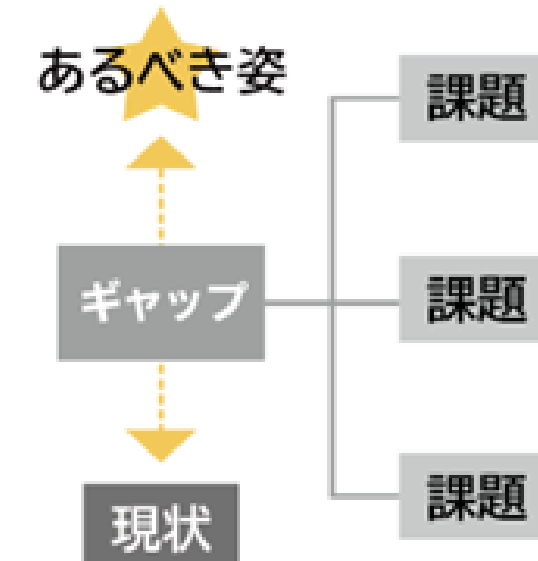
現状を把握する



課題を見出す



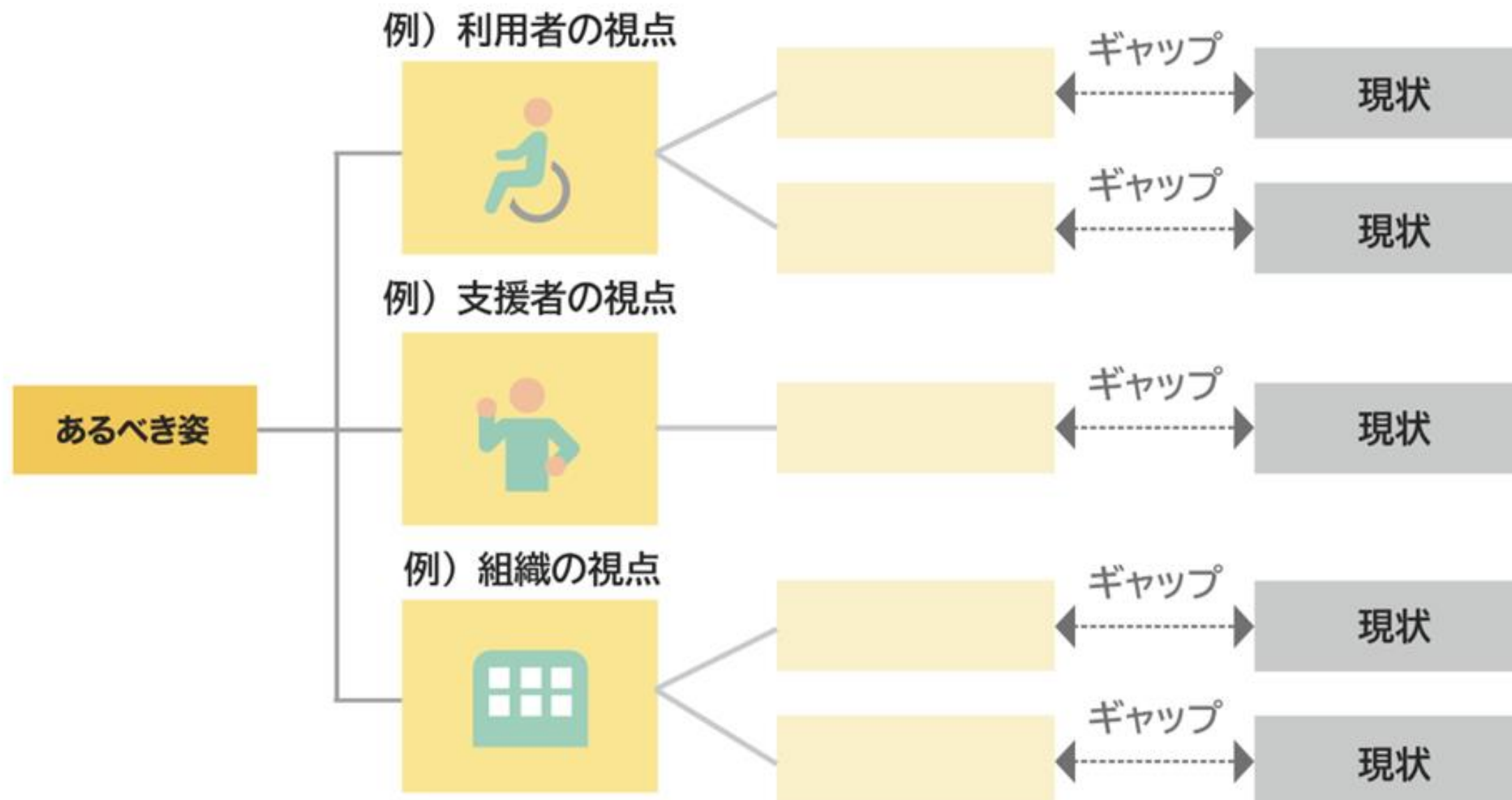
現状、あるべき姿を整える



生産性向上をどのように進めるかーHow

■あるべき姿と課題を見える化する

ロジックツリーなどを使って構造的に整理することで、原因や関係性を見える化することができます。

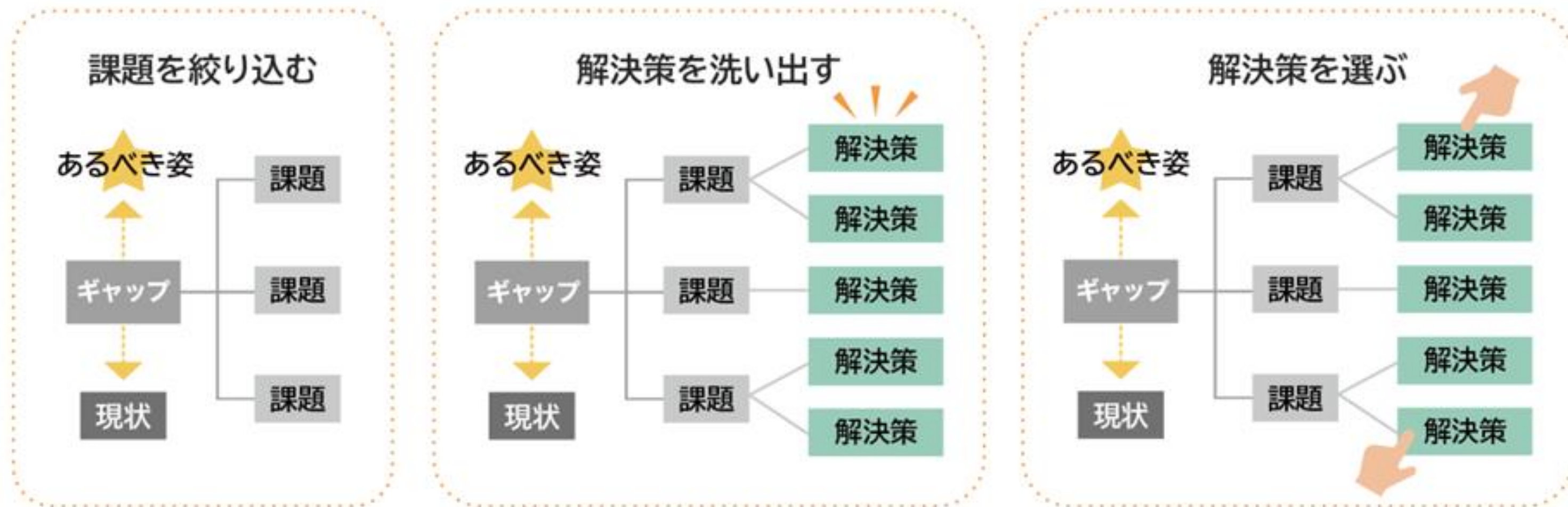


生産性向上をどのように進めるかーHow

■ステップ3 解決策を考える

現場で無理なく実行できる、解決策を考えていきます。

ステップ③



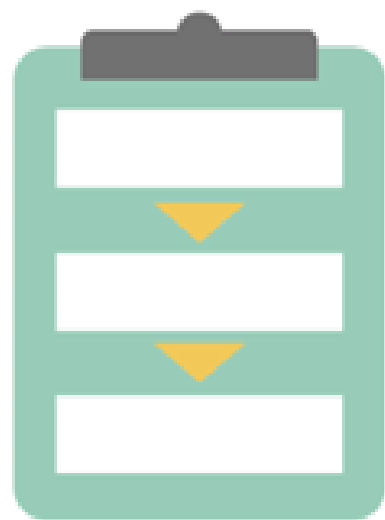
生産性向上をどのように進めるかーHow

■ステップ4 試してみる

考えた解決策を現場で実際に行う具体的な取組（アクティビティ）に落とし込み、小さく試していきます。

ステップ 4

取組の計画をつくる



評価指標を決める



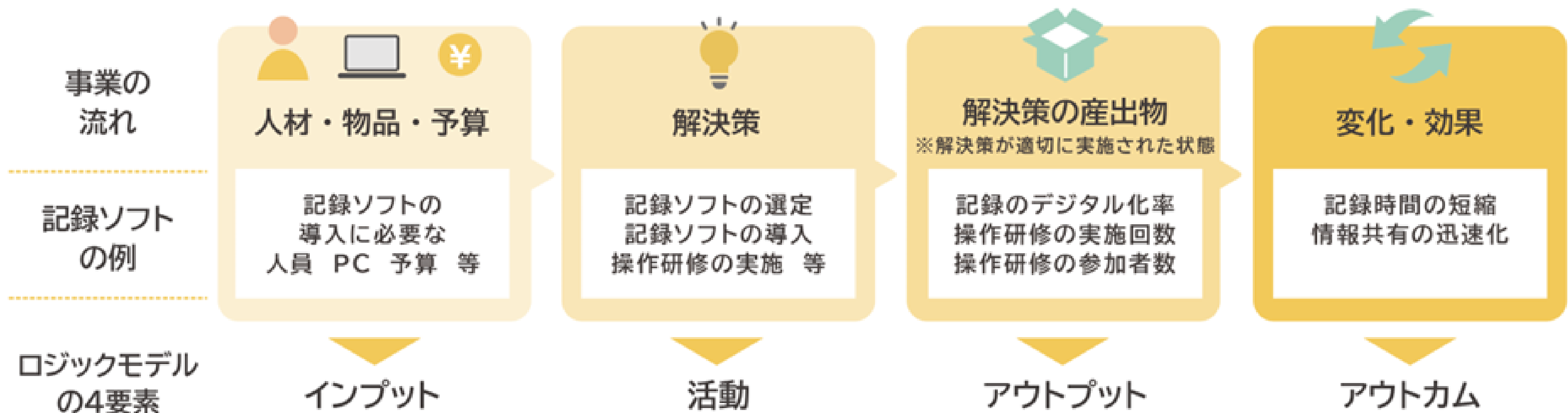
小さく取組を始める



生産性向上をどのように進めるかーHow

■実行計画

実行計画を作る際には、「解決したい課題に対し、どのような取組を行い、その結果どのような変化が期待されるのか」を整理します。



生産性向上をどのように進めるかーHow

■ステップ5 振り返る

実行した取組を振り返り、必要に応じてやり方を見直ししながら、次の取組へつなげ、よりよい形へ発展させていきます。

ステップ ⑤

評価する



取組を意味づける



次のサイクルに発展する



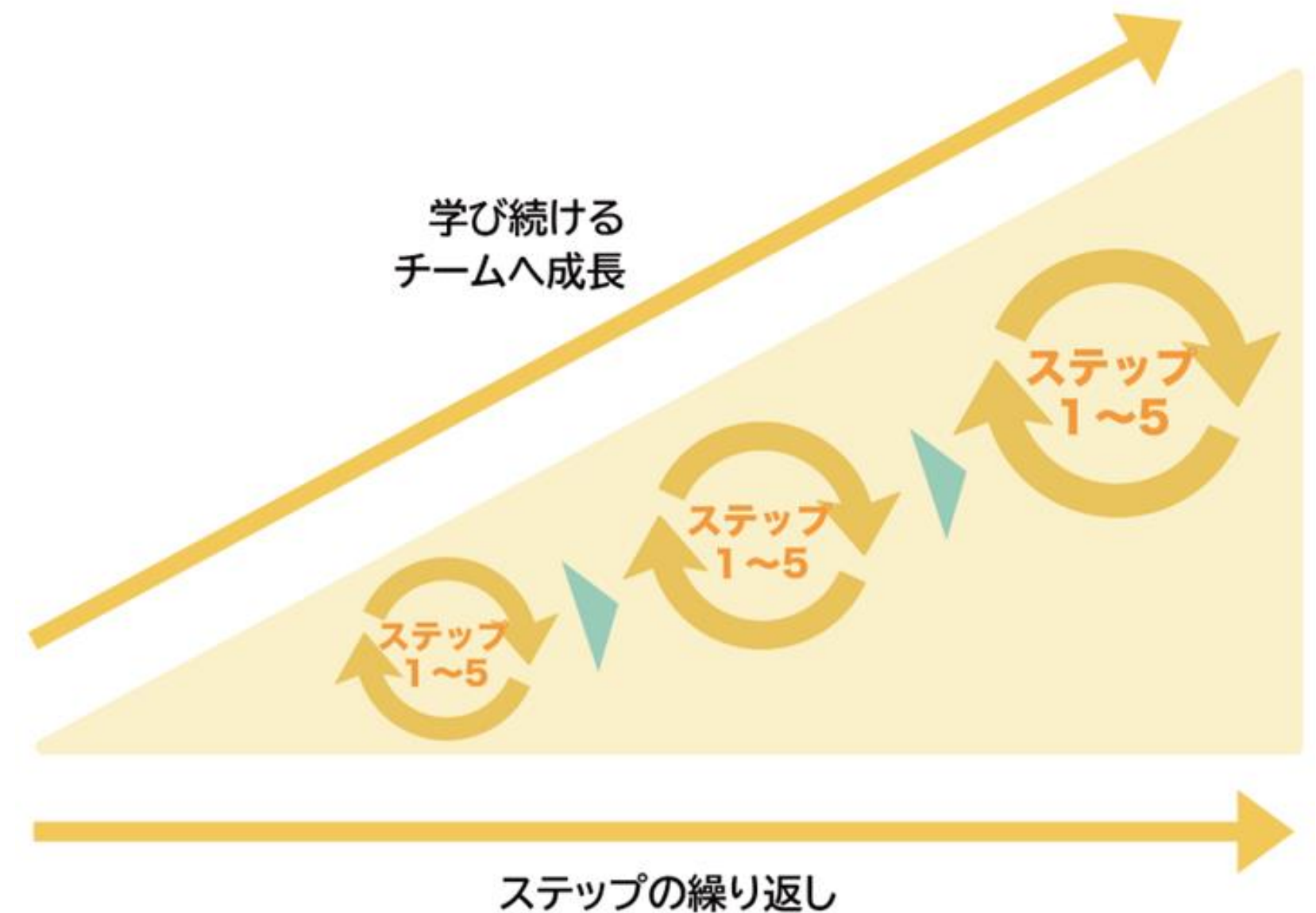
生産性向上をどのように進めるかーHow

■学び続けるチームに

生産性向上の取組は、一度実施して終わるものではありません。

ステップを繰り返しながら改善を積み重ねていくことで、チームの学びが深まり、より良い支援へと発展していきます。

このサイクルを回し続けることで、ケアの充実に向けた取組が組織に根づき、持続的な成長につながります。



障害福祉現場における生産性向上は、
**支援者一人ひとりの力を引き出し
チームで利用者に届け、新たな価値を生み出すこと**

生産性向上の中心にあるのは
支援者の力と、チームの力です！